

平成20年度



大田原市の家計簿

大田原市

平成20年度の大田原市の予算については、市の将来像である「住む人が輝き、来る人がやすらぐ、幸せ度の高いまち」の実現に向け、財政の健全性の確保しつつ、限られた財源の重点的、効率的な配分に努め、編成いたしました。

「大田原市の家計簿」は、この平成20年度の予算をもとに、皆さんに納めていただく税金や国・県からの支出金が、どのように使われるのか、どのような仕事にどのくらいお金が必要なのか、また、市の借入金（市債）や預金（基金）はどのくらいあるのかなど、大田原市の財政状況をお知らせするものです。

【目 次】

1	平成20年度の市の予算	1
2	平成20年度の一般会計予算	2
3	市民1人当たりの予算	4
4	平成20年度予算にみる1人当たりの経費	5
5	平成20年度の主な事業の予算	6
6	基金の状況	7
7	市債の状況	8
8	市債の残高	9
9	公債費の状況	10

1 平成20年度の市の予算

(1) 一般会計 274億2,000万円

※ 皆さんからの税金を主な収入として市の大部分の仕事をまかっています。

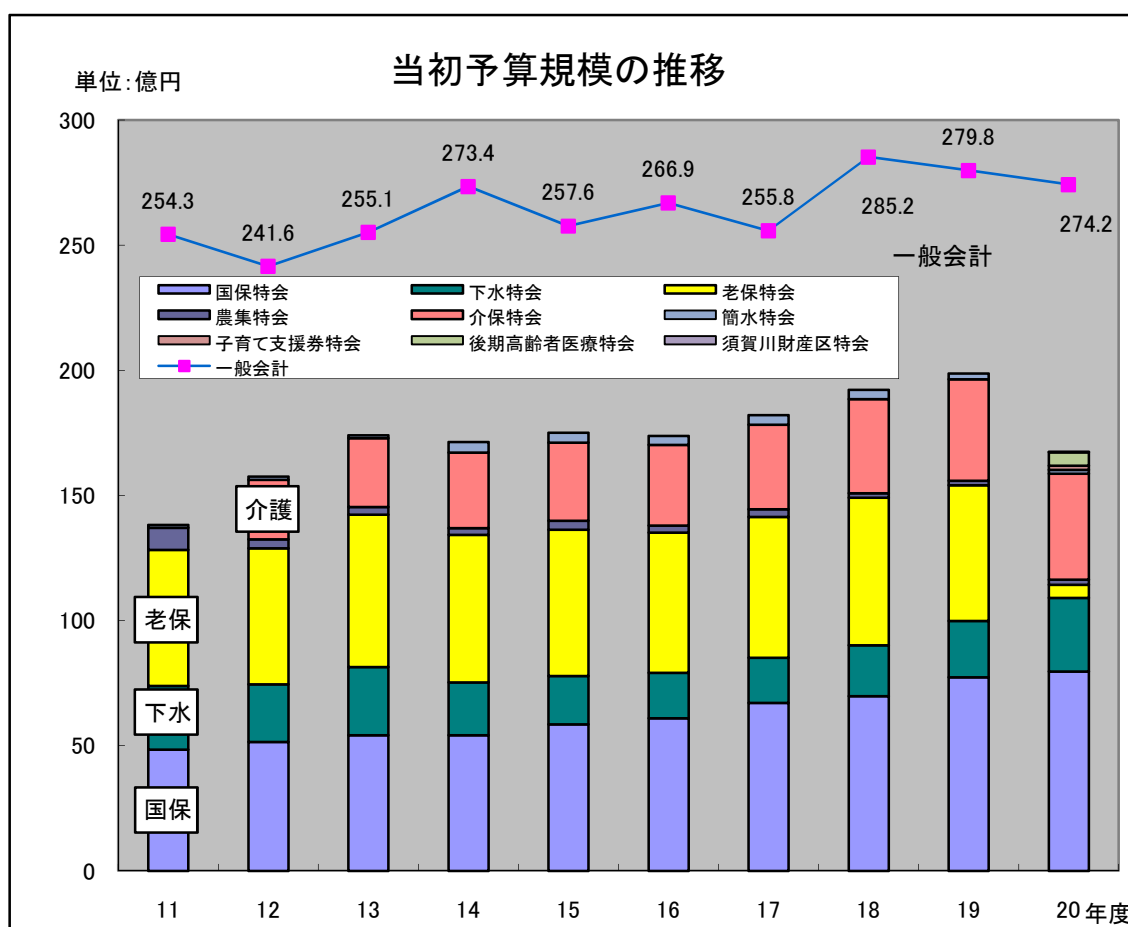
(2) 特別会計 167億3,940万円

国民健康保険事業費	79億7,200万円
下水道事業	29億4,030万円
老人保健	5億2,980万円
農業集落排水事業	1億9,400万円
介護保険	42億3,400万円
簡易水道事業	1億5,400万円
子育て支援券	1億7,550万円
後期高齢者医療	5億3,880万円
須賀川財産区	100万円

※ 特定の収入で特定の事業をまかっています。

(3) 水道事業会計 23億9,120万円

※ 企業会計で経理されている会計です。



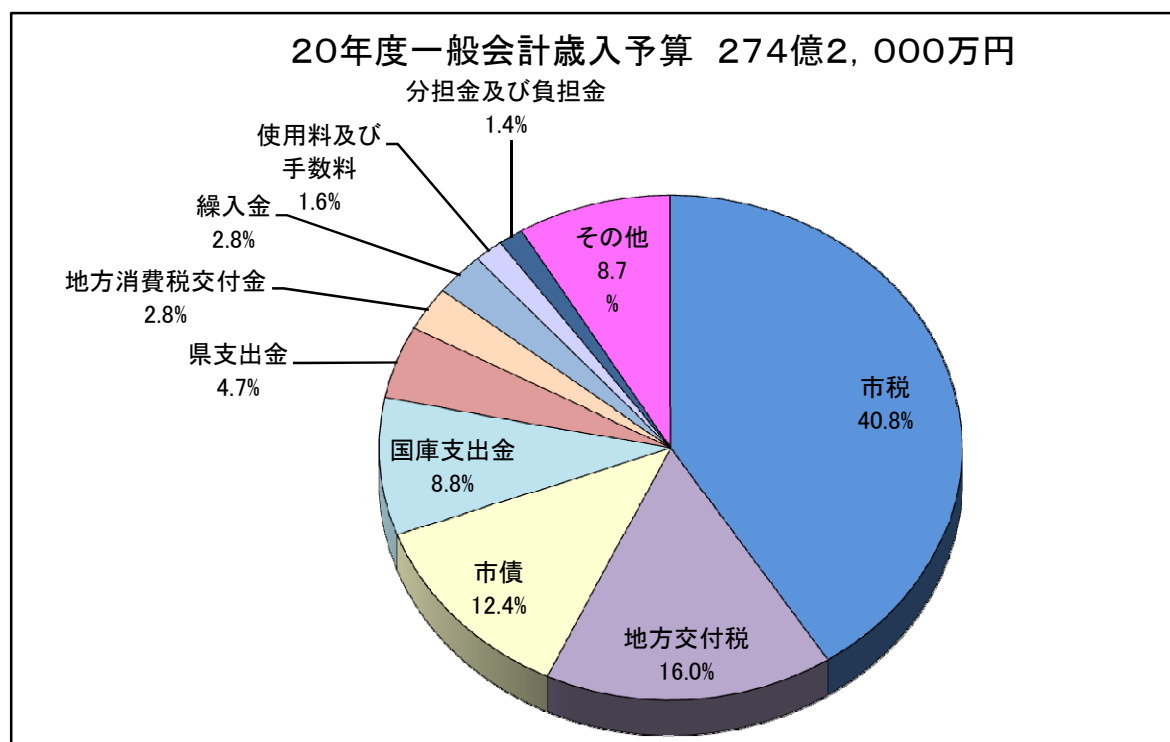
※ グラフ中平成11年度から17年度までは、3市町村の当初予算を合算しています。

2 平成20年度の一般会計予算

一般会計には、市民の皆さんの日常生活に深くかかわっている福祉、衛生、道路、教育などの仕事を行うための経費が計上されています。
平成20年度の予算は、274億2,000万円で、その内訳は以下のと

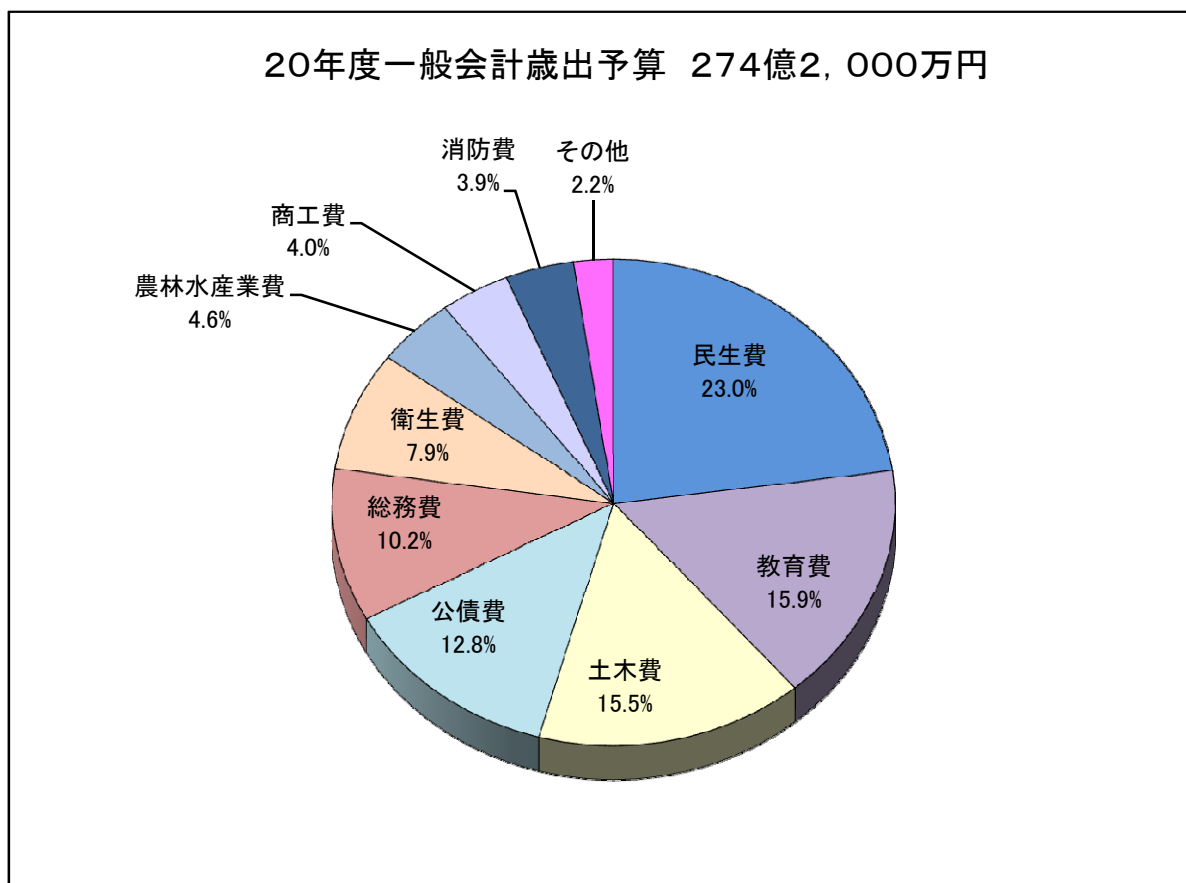
【歳入】

市 税	112億1,199万円	皆さんに納めていただく市民税(個人及び法人分)や固定資産税、都市計画税などの税金です。
地方交付税	44億円	全国の市町村がひとしく事務ができるように、国税(所得税、法人税、酒税、消費税、国のたばこ税)の一定割合が、市町村の財政状況に応じ交付されます。
市 債	34億1,410万円	多額の資金を必要とする事業に対して、国や銀行等から借り入れるお金です。
(うち合併特例債)	(21億5,210万円)	合併市町村に配分される有利な借入金です。
国庫支出金	24億 825万円	道路の整備や学校の建設、社会福祉などの特定の事業に対して、国から支出されるお金です。
県支出金	12億8,113万円	特定の事業に対し県から支出されるお金です。
地方消費税交付金	7億8,000万円	地方消費税1%の1/2が市町村に交付されます。
分担金及び負担金	3億7,800万円	他市町村からの負担金や、保育園児の保護者に負担していただくお金です。
繰入金	7億6,000万円	基金(預金)から一般会計に繰り入れるお金です。
使用料及び手数料	4億4,259万円	市営住宅などの使用料や住民票の交付手数料などです。
その他	23億4,394万円	繰越金や財産収入、寄附金などのお金です。



【歳出】

民生費	62億7,461万円	高齢者や幼児、体の弱い人などを援護する福祉向上のための経費です。
教育費	43億6,264万円	小・中学校の教育を充実したり、文化・芸術、スポーツを盛んにするための経費です。
土木費	42億4,118万円	道路や橋、河川、公園を整備したり、区画整理を行うための経費です。
公債費	35億 631万円	学校や道路、市営住宅などを建設するために借りたお金を返済するための経費です。
総務費	27億9,510万円	市役所の全般的な仕事や税金の賦課徴収、戸籍事務、選挙事務などの経費です。
衛生費	21億7,749万円	皆さんの健康を守ったり、ごみやし尿を処理するための経費です。
農林水産業費	12億6,002万円	農業や畜産業、林業などを盛んにするための経費です。
商工費	10億9,972万円	商業や工業、観光などを盛んにするための経費です。
消防費	10億8,193万円	皆さんの生命や身体、財産を火災などの災害から守るための経費です。
その他	6億2,100万円	議会費や労働費、災害復旧費などの経費です。



3 市民1人当たりの予算

一般会計の予算の総額274億2,000万円を平成20年4月1日現在における住民基本台帳人口74,631人で除して、市民1人当たりの予算に換算すると36万7,408円になります。その使いみちの内訳は以下のとおりです。

【歳入】

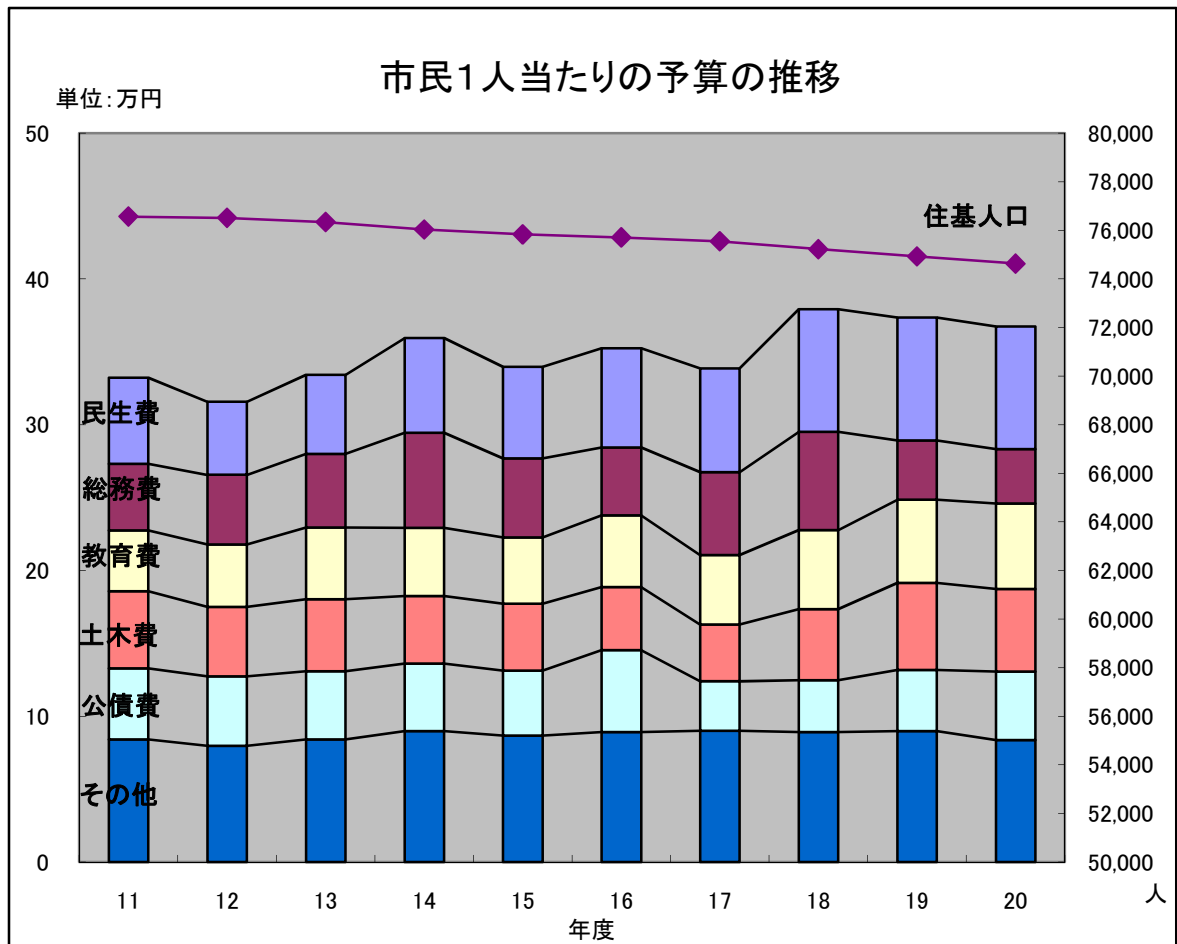
市税 112億1,199万円 (1人当たり 15万 232円)
 市税以外のお金 162億 801万円 (1人当たり 21万7,175円)

【歳出】

民生費 8万4,075円
 教育費 5万8,456円
 土木費 5万6,829円
 公債費 4万6,982円
 総務費 3万7,452円
 衛生費 2万9,177円
 農林水産業費 1万6,883円
 商工費 1万4,736円
 消防費 1万4,497円
 その他 8,321円

1人当たりに使われるお金
36万7,408円

(参考)
 1人当たりの個人住民税 4万5,773円
 1世帯当たりの市税 43万9,565円



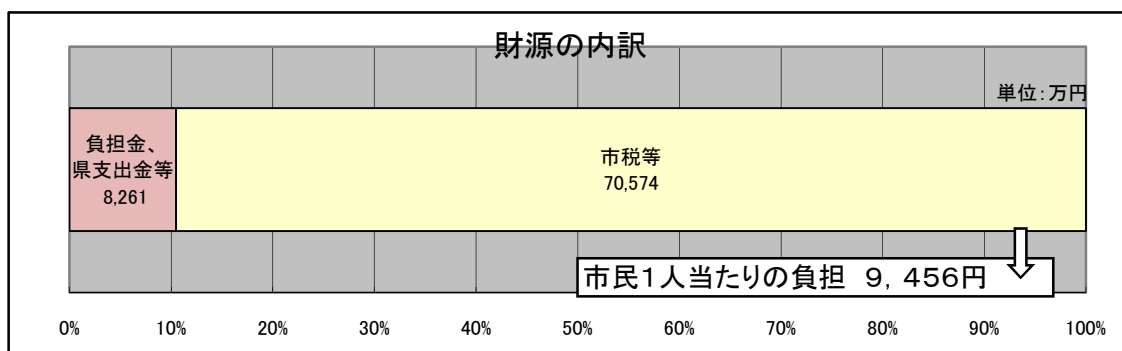
4 平成20年度予算にみる1人当たりの経費

一般会計の予算のうちで、高齢者、保育園児及びごみ処理に要する1人当たりの経費については、以下のとおりです。

(1) 高齢者1人当たりの経費 4万9,600円

老人福祉費 7億8,835万円

65歳以上の人口 15,894人
(平成20年4月1日現在)

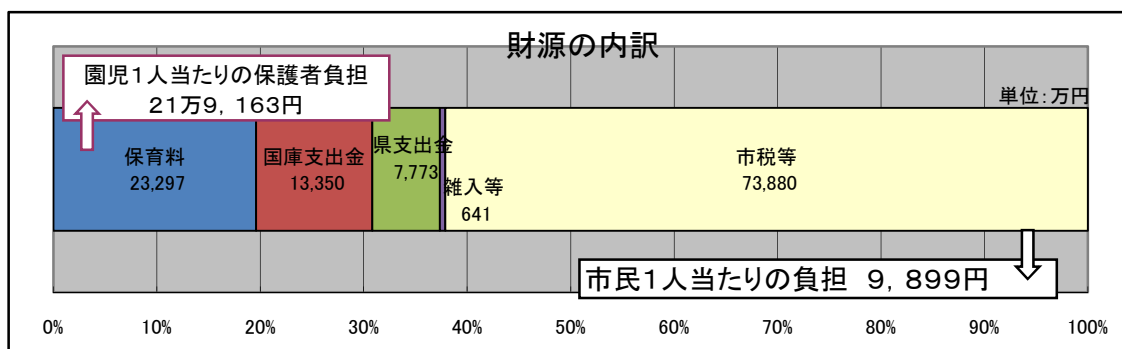


※ 介護保険に係る経費は含まれていません。

(2) 保育園児1人当たりの経費 111万8,918円

保育所費 11億8,941万円
(私立保育所運営費を含む)

園児数 1,063人
(平成20年4月1日現在)



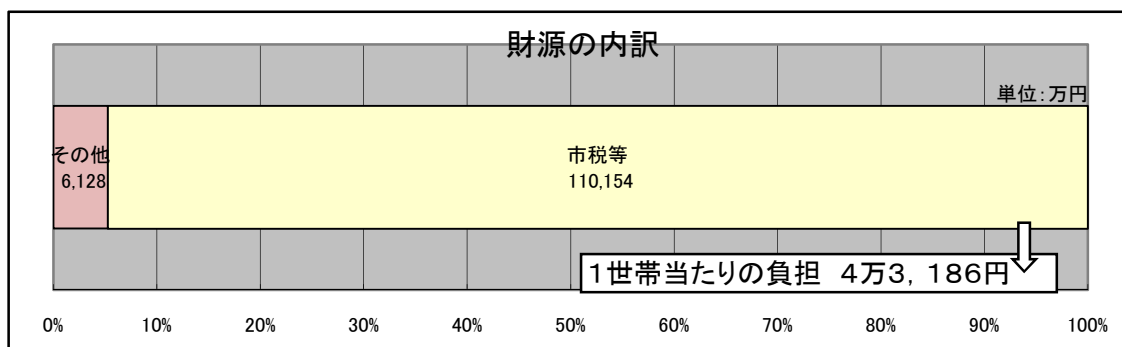
※ 平成20年度湯津上地区保育園統合整備事業費2億480万円を除いています。

※ 須賀川児童館に係る経費は除いています。

(3) ごみ処理に要する1世帯当たりの経費 4万5,588円

ごみ処理費 11億6,282万円

世帯数 25,507世帯
(平成20年4月1日現在)

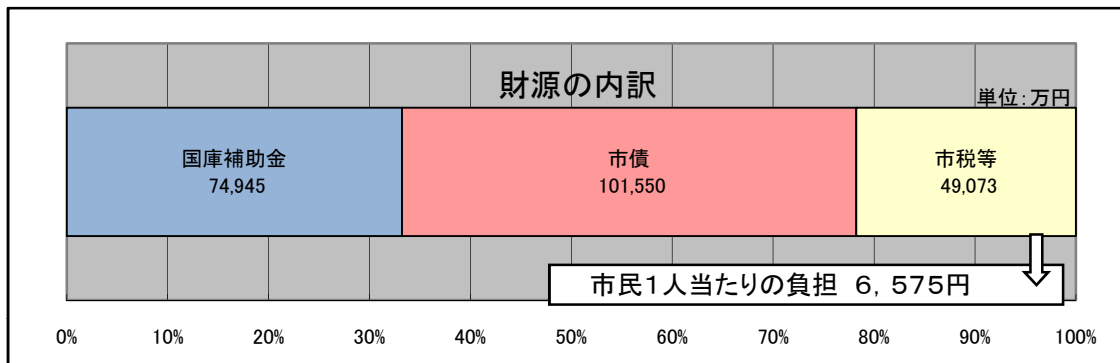


※ 平成20年度リサイクル推進施設整備事業費1億5,710万円を除いています。

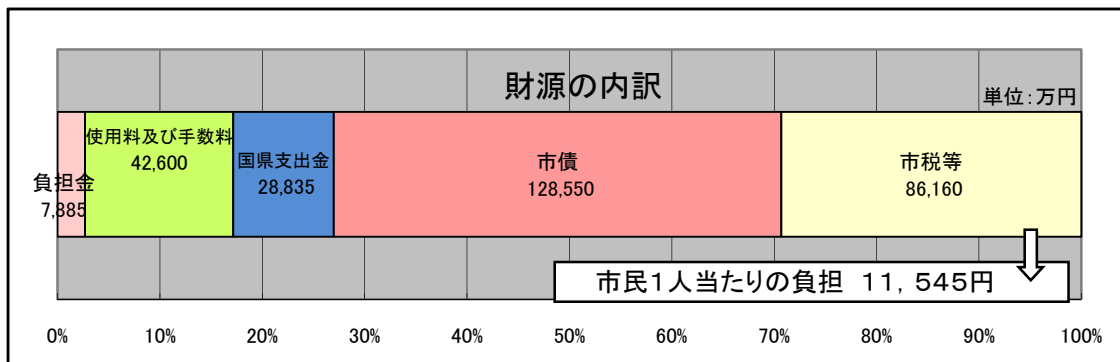
5 平成20年度の主な事業の予算

大田原市の予算のうちで、道路、下水道及び簡易水道の各事業について、市税等の収入を市民1人当たりいくら見込んでいるかについては、以下のとおりです。

(1)道路	道路関係予算額	22億5,568万円
	(内訳)	
	道路維持	3億4,901万円
	新設改良	15億7,162万円
	街路	1,300万円
	まちづくり交付金事業	3億2,205万円

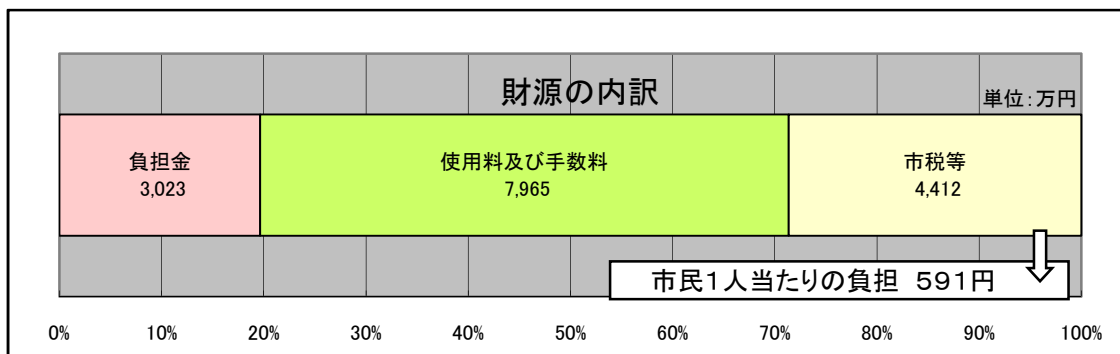


(2)下水道	下水道事業特別会計予算額	29億4,030万円
--------	--------------	------------



※市債には公的資金補償金免除繰上償還に係る借換債7億8,970万円が含まれています。

(3)簡易水道	簡易水道事業特別会計予算額	1億5,400万円
---------	---------------	-----------



6 基金の状況

基金とは、ある目的のために銀行などに預金しておいたり、土地として持つことにより、必要なときに預金をおろしたり土地を処分（売り払い）したりすることによって、皆さんのために活用するものです。

大田原市には、平成20年4月1日現在で17の基金があり、その内容は以下のとおりです。

財政調整基金	16億2,403万円	年度間のお金の調整を行い、健全な財政運営を行なうための預金
減債基金	2億 881万円	市で借りたお金の返済を計画的に行うための預金
土地開発基金	現金 5億 594万円 貸付金 3億1,900万円 土地 77,133㎡	施設などを建設するための土地をあらかじめ購入することで、その事業を進めやすくするための預金等
奨学基金	8,159万円	高校生や大学生に対して奨学金の貸し付けをするための預金
あすなろ基金	1億 202万円	小学生や中学生の表彰と青少年の国内外の交流に関する事業を円滑に行なうための預金
大学誘致基金	1,290万円	大学などの高等教育機関の誘致を進めるための預金
スクラム基金	6億4,860万円	高齢者などの生活を援助するための預金
スポーツ文化振興基金	6,657万円	皆さんのスポーツや芸術・文化を振興するための預金
子育て支援基金	925万円	明日を担う子どもを、安心して生み、健やかに育てるための預金
中山間地域農村環境保全基金	1,021万円	中山間地域の農村環境を形成する土地改良施設等の保全事業を実施するための預金
合併振興基金	22億 140万円	合併後の市民の連帯の強化と地域の振興に必要な経費の財源に充てるための預金
国民健康保険財政調整基金	3億8,328万円	国民健康保険事業を適正に行なうための預金
高額療養費資金貸付基金	506万円	一時期に多くの医療費を必要とする人に対して貸し付けをするための預金
国民健康保険出産費資金貸付基金	300万円	出産一時金の支給を受けるまでの間、出産に要する費用を貸し付けるための預金
介護保険財政調整基金	1億8,937万円	介護保険事業を健全に維持するための預金
高額介護サービス費貸付基金	100万円	多くの介護保険サービス費を必要とする人に対して貸付をするための預金
須賀川財産区財政調整基金	2,027万円	財産区の健全な財政運営を行うための預金

※出納整理期間中(H20.4/1～5/31)に積み立てる予定のものを含んでいます。

7 市債の状況

市は、皆さんが納める税金を主な収入として、いろいろな仕事をしています。その中で、学校や道路などは、皆さんの子供の代まで利用できるものであり、その建設や工事にかかるお金も、それらを利用する住民の方にも負担していただくという考えで、一部に長期の借入れをしています。

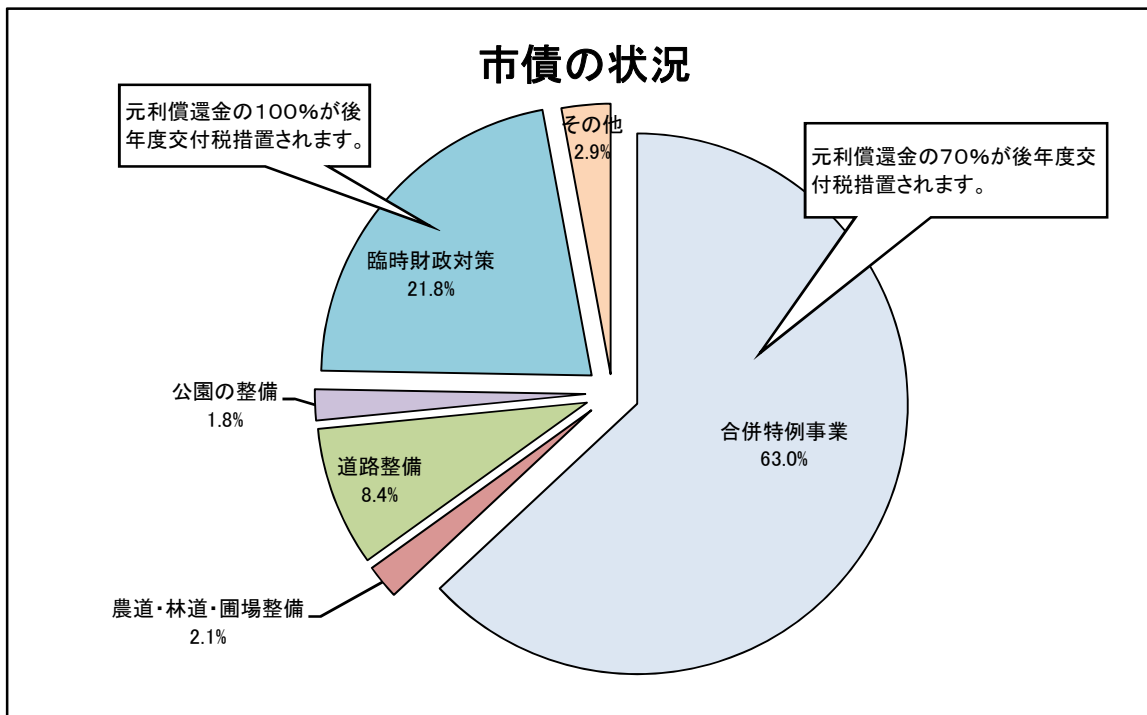
この借入金を市債といい、平成20年度は一般会計で34億1,410万円で、うち21億5,210万円が合併特例事業債という合併市町村に有利なものを予定しています。

平成20年度の借入金を市民1人あたりに換算すると4万5,746円です。

・ 合併特例事業 21億5,210万円

湯津上地区保育園統合整備事業
野崎駅周辺地区整備事業
黒羽・川西コミュニティセンター新築事業
消防施設整備事業
市道片府田大田原線外10路線の道路改良事業
黒羽統合中学校整備事業
両郷コミュニティセンター新築事業

・ 農道・林道・圃場整備 6,990万円
・ 道路整備（合併特例事業を除く） 2億8,570万円
・ 公園の整備・土地区画整理 6,280万円
・ 臨時財政対策（注） 7億4,400万円
・ その他（リサイクル施設整備） 9,960万円

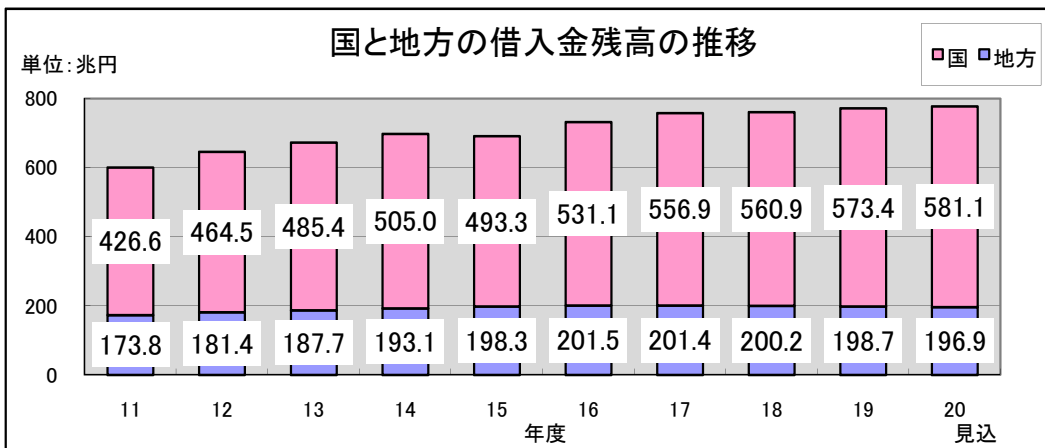
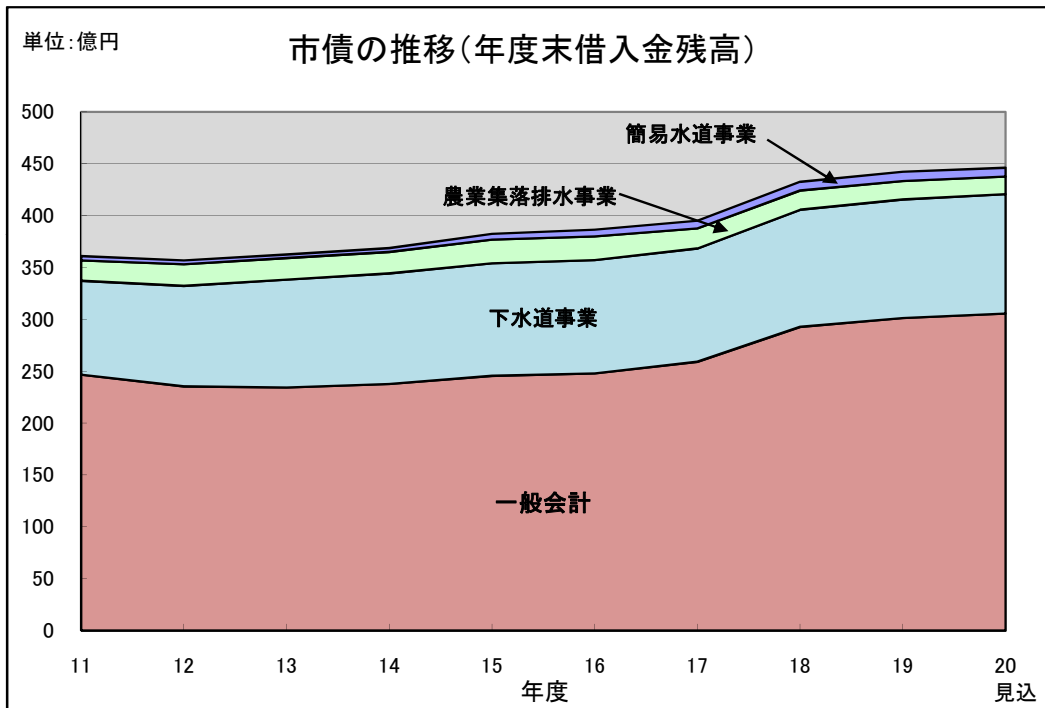
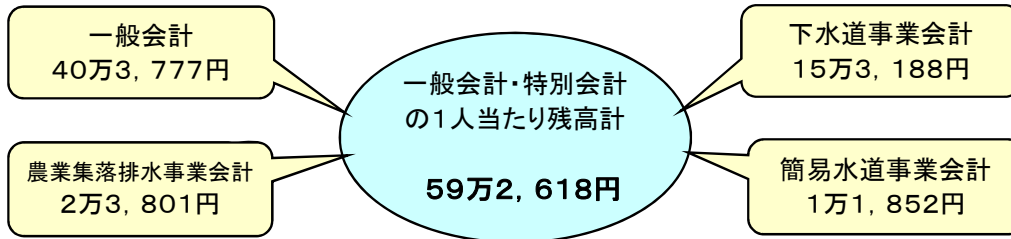


（注）国税収入の減少による普通交付税の振替額を、それぞれの自治体が借入れ補てんする制度。後年度普通交付税で措置されます。

8 市債の残高

平成19年度末の一般会計における地方債の現在高は、301億3,427万円となる見込みであり、市民1人当たりには換算した額は40万3,777円です。

一般会計、特別会計の1人当たりの地方債残高見込(水道事業会計を除く)



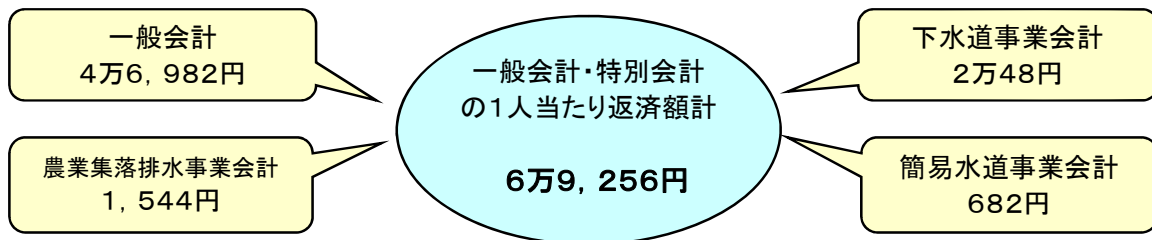
※ 地方の残高は地方債残高、企業債残高のうち普通会計負担分及び交付税特会借入金残高のうち地方負担分の合計額です。平成18年度までは決算、それ以降は予算(補正含む)の数値です。

9 公債費の状況

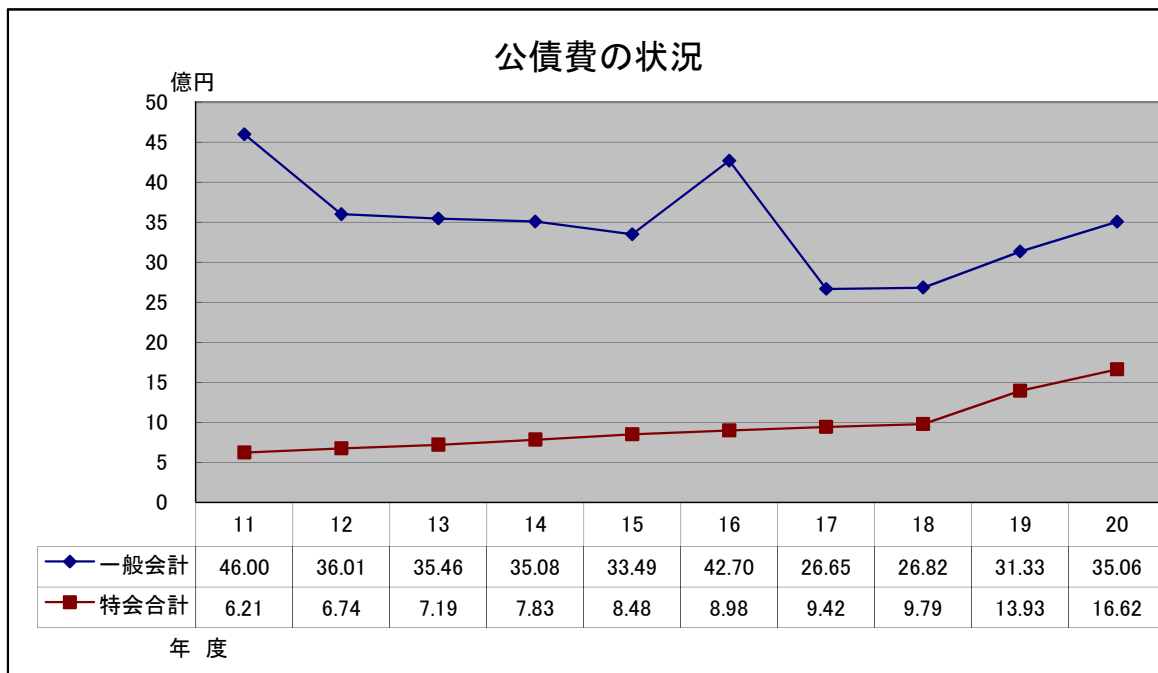
市債は、その年度では収入ですが、将来に渡り元金に利息をつけて返済していかなければなりません。この市債（借入金）の返済金を公債費といいます。

平成20年度の一般会計公債費は、35億631万円で、市民1人当たりに換算した返済額は4万6,982円です。

一般会計、特別会計の1人当たりの返済額(水道事業会計を除く)



※返済額には公的資金補償金免除繰上償還額が含まれています。



H17までは3市町村の決算額の合算。H18は実績、H19は決算見込、H20は予算計上額です。

※ 平成11年度と16年度は一時的に公債費が増大していますが、それぞれ繰上償還や減税補てん債の借替えを実施したことによるものです。これにより大幅な利子の軽減となりました。



与一の里
大田原

お問い合わせ先

大田原市財務部財政課財政係

TEL 0287-23-8797

E-mail zaisei@city.ohatawara.tochigi.jp